

会員増強セミナー参加報告



モデレーター
RI 会員増強委員
RI 拡大委員

RI 第250地区会員増強委員長

萬 省 吾

堀場 雅夫 (RI 会長チャールズ・C・ケラー任命)
嶋津パストガバナー
渡辺東京西RCパストガバナー

昭和62年 7月 3日
於：東京 帝国ホテル

堀場モデレーターよりRI役員紹介後、嶋津RI会員増強委員より歓迎の言葉があり、自己紹介がなされた。各地区共、経験豊かなパストガバナーが多く、拡大に力を入れているか肌で感じた次第であります。RI会長チャールズ・ケラーのメッセージの中で純増3%と既存クラブの会員増にふれられ、本日まで出席の皆さんにご期待申し上げますと結び、堀場モデレーターより要請事項として①地区会員増強セミナーを開催し、特に各クラブの発言を引出すことに留意願いたい。

②マンスリーレーターを利用して、増強の記事を取上げてほしい。
③会長エレクトセミナーで、増強について取上げてほしい。
④退会者の理由を調べ、各クラブに流してほしい。(特に地区委員会の仕事として考えてほしい。)
嶋津RI会員増強委員の報告がありましたが、ノミニエへの要請事項が殆どのテーマで割愛します。
モデレーター進行により、意見発表討論に

入る。

回 279地区パストガバナーより：増強は、2人以上の熱心な会員がいて周囲が協力して成果を上げ得る。これも古い会員がいて妨害する様だとむずかしい。アデショナルクラブの親クラブは、どうしても年輩ロータリアンが多く弾力性がない。子クラブが親クラブに刺激を与えると、親も変って来る。若い世代を入会させ、活力を生み出す努力をしなければ。

3階建、4階建はむずかしい。クラブの活性化が今こそ必要なとき。若い人は流れを待っている。

回 269地区パストガバナーより：アメリカ地区の会員激減にふれ、多くのクラブが1/10～1/2まで会員が減少している事実、ロータリーも足もとを見直し、原点に立帰るべきというショッキングな発言があり、確かな情報をRIに求めることとなる。

回 254地区より：現ロータリー活動は、

- ①情報教育の不十分な点、苦情が多い。
- ②事業計画のマンネリ化、ロータリーの体質改善を考えるべき。尚、地域のニーズを求めて奉仕を。
- ③設立当時のメンバーに阻害感あり。
- ④広い意味でのクラブの活性化を急ぐべき。
- ⑤終結クラブにだけはしないで呉れという事で、4人で例会をやったこともあり、現在20名にもどった話などあり。

回 RI 拡大委員、渡辺東京西クラブ、パストガバナーより：特にノミニエへの要請があり、①各クラブのマンネリ化が会員を熟睡させている。眠りをさまらせて下さい。

- ②ロータリー情報委員長をきたえて下さい。
- ③3年未満1～2年会員セミナーを開くこと。
- ④同化しない会員に、言いたいこと発表したいこと全部言わせる。それが退会者を自然に少くする。
- ⑤各クラブの5年間の実績を比較させ、クラブ毎に協議会を必ずもたせて下さい。
- ⑥東京西クラブは、200名の会員で減少ぎみであったが、原宿クラブを作らせたなら、若い層の会員が入会。たちまち大きな新クラブが出来上った。
- ⑦古い会員の多いクラブでは、若い人はなか

なか入ってこない。楽しくない、いつでも親父と共にいる様な抵抗を感じずの様だ。40以上のクラブが出来れば新しい地区が出来ます。拡大に全力をあげて下さい。

回 250地区から、若い世代をロータリーに入会させるために努力されているご意見が多く出されていますが、人口の少ない地域に於いては特に大変なことであります。JCのOBが入会しやすいロータリーへのレールを敷くことが最も大切かと思われませんが、各地区の現況を發表願いたい。

回 272地区より、JCより入会した後、ロータリーの奉仕と同じ様に考え行動すると問題が出る。JC・OBで活動的な会員を社会奉仕委員長にしていたが、JC、ライオンズ、ロータリーと連絡協議会をつくり地域活性のために100万円持寄り奉仕をすることになった。それがクラブ理事会で否決され、その後集団で行動した例などあり、ロータリーのルールを知ってもらう事が先決である。

回 堀場モデレーターより：多くの意見が出され参考になりました。討論の中から、
◎ロータリーは、基盤整備が必要である。
①ロータリーは、新しい魅力を創造すること。
②ロータリーは、哲学を持たなければ。
③民主化、合理性という点もう一度振返ろう。
④JC・OBには、先ずロータリーを理解して頂く。

- ⑤テクノロジー。
- ⑥各業界専門職業人の名簿等、もう一度見直そう。
- ⑦ロータリーの高齢化に対応。人口平均値、年齢平均値の見直し。
- ⑧ロータリーは、70名を越したら拡大。70クラブ以上は地区拡大が理想。としめくくられた。

今セミナーを通じ、ロータリーの若返りの重要性、地域のニーズを求めて進められるロータリー活動、一皮むけたロータリーのフィーリング等、研究課題は非常に多いと思いました。組織の発展は、先ず一人の会員の退会防止から。皆様の手をお借りしたいのであります。